

会 議 録

会議名	令和3年度 第2回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和3年5月17日(月) 午後7時00分～午後7時55分		
開催場所	星が丘公民館 大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	4人(中央6地区まちづくりセンター所長 ほか2人、地域活力推進員)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 令和2年度星が丘地区地域活性化事業交付金事業報告について (2) 星が丘地区ふれあいフェスティバルについて (3) 災害時たすけあい事業について (4) まちづくり会議の開催時間について (5) その他 4 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、□は申請団体の発言)

1 開 会

坂本副会長が開会

2 あいさつ

竹田会長あいさつ

中央区にて実施している、「あったかドライブプロジェクト」について周知するとともに、希望者へステッカーを配布した。

3 議 題

(1) 令和2年度星が丘地区地域活性化事業交付金事業報告について

申請団体から、令和2年度の実施事業について報告した。

- ・星が丘とその周辺地域を探検・散策するマップの作成事業
- ・星が丘地区「新型コロナウイルス感染症拡大に備えた自治会における感染症対策等推進事業」
- ・星が丘地区飲酒運転根絶事業

<主な意見、質疑>

□探検・散策するマップを読んだ方から、「散策コースの案内文がとても暖かい表現であり、周辺に暮らす方の繋がりや息吹が感じられるので、気が付くとどんどん読み進めてしまう。」という感想をいただいた。

□散策コースの地点をスケッチして絵葉書を作成された方がいた。絵葉書をいただいたが、散策マップに掲載した写真よりも、絵の方が綺麗だと感じた。絵が描ける方を募集し、散策マップとコラボをして絵葉書を発行できたら面白いと思う。

○横山6丁目の高齢者等が利用する施設に散策マップを渡したら、とても喜んでくれた。委員の皆さんも近所の施設に届けるなど、積極的に周知してほしい。

□FM さがみの「大好き！中央区」で散策マップについて周知した。6月中に4回放送予定である。

(2) 星が丘地区ふれあいフェスティバルについて

竹田会長から、今年度のふれあいフェスティバルの方向性について以下のとおり提案した。

10月24日(日)に実施予定である。予算については、事業を自立させるために

も地域活性化事業交付金は活用せず、例年、合同で開催しているふるさとまつりと町民運動会を分離し、ふれあいフェスティバルとふるさとまつりを合同で開催して、地域市民まつり等助成金を活用することを検討している。助成金活用に伴い、事業名称は「第〇回星が丘地区ふれあいフェスティバル・第〇回ふるさとまつり」とできたら良いと思う。実行委員会は従前通りまちづくり会議のメンバーとし、事業内容については新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえ検討したい。

なお、町民運動会の予算は、市からの委託料を活用し、商品代については必要に応じて例年同様自治会が負担すれば良いと思う。

<主な意見、質疑>

○ふれあいフェスティバルについて、予算の見通しはあるのか。

⇒○過年度の積立金と地域市民まつり等助成金により、足りる見込みである。

<結果>

提案のとおり承認された。事業内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を加味し検討する。

(3) 災害時たすけあい事業について

今年度2回目の地域活性化事業交付金を申請し、平成27年度から実施した「災害時たすけあい事業」の再構築を予定していることについて、申請団体から説明した。

<主な意見、質疑>

○数年前に事業の通知をいただいたが、年月が経つとともに世帯も変わるため、再構築することは良いと思う。また、事業開始の際は支援者として登録したが、今の時点では、要援護者の立場になるのではないか。

⇒□基本的に名簿の削除や追加等については毎年実施することになっている。事業開始から6年経過した中で、支援者が、自身を支援者として認識し続けているかを懸念している。支援の内容は安否確認のみのため、支援者が高齢となっても継続可能である。事業の実施により高齢者同士の繋がりができれば良いと思う。

<結果>

賛成多数により、地域活性化事業交付金の申請について、承認された。

(4) まちづくり会議の開催時間について

竹田会長から以下について提案した。

・まちづくり会議について、昼間の開催を検討しているため、まずは委員の皆さんの考えを伺いたい。まちづくり会議等の開催時間は区によって違いがあり、中央区は夜間の開催が多いが、南区では昼間に開催している地区が多いと承知している。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインでまちづくり会議を開催することも検討している。オンラインで会議を開催する際は、主となるパソコンを公民館に置くので、オンライン会議ができない環境の委員は、公民館に来ていただく。

・まちづくり会議の構成員の人数を減らしたい。また、委員の推薦について、団体からの推薦も必要だと思うが、団体によっては充て職になっている現状もあると思うので、積極的にまちづくり会議に参加したいという思いがある人を公募し、会議を活性化させたい。

<主な意見、質疑>

○昼間の開催及びオンライン会議の開催は賛成である。

○仮に平日昼間の開催とした場合、仕事等の都合により参加できない委員はいるか。

⇒○仕事の都合により平日昼間は参加できない。

○新型コロナウイルス感染症の影響により、まちづくり会議の際は、公民館の大会議室を使用する必要があるため、会場の予約も苦慮している。また、まちづくり会議で大会議室を使用することにより、他の団体は、大会議室の予約が取りづらくなってしまうため、問題だと感じている。それらの理由もあり、構成員の人数を減らし、公民館のコミュニティ室で会議が開催できたらと思う。

⇒○構成員の人数を減らすこと及び会議委員を公募することは賛成である。構成員をまちづくり会議で一から検討するのは難しいと思うので、役員会等で原案を作成してから、まちづくり会議へ提案いただくのが良いと思う。

○構成員を減らす場合、現任期の終了後となるか。

⇒○その予定である。

<結果>

まちづくり会議を平日昼間に開催する場合、参加できないという意見はあったが、会議を昼間に開催すること及び構成員を減らすことについて、検討することとなった。

(5) その他

・○災害時たすけあい事業の内容については、自治会長・民生委員児童委員合同会議にて決定していると思うが、まちづくり会議で事業内容に対し意見等が出た際に、どちらの意見が優先されるのか。

⇒○まちづくり会議は事業内容を精査する場ではなく、地域活性化事業交付金を活用することに対して意見する場である。事業内容の精査等は申請団体や区

役所が行う。

- ・ ○令和2年度に地域活性化事業交付金を活用し作成した飲酒運転根絶のぼり旗について、のぼり旗に「自治会連合会」と記載があるが、実施している地区が分からないため、「星が丘地区自治会連合会」とした方が良かったのではないかと。
⇒○のぼり旗は清新地区と星が丘地区合同で作成したものだが、地区名を入れて作成すると非常に単価が高くなるため、予算の都合上、地区名を入れないこととした。
- ・ ○下校後に遊んでいる子ども達の中で、マスクをしないで遊んでいる子どもが見受けられる。新型コロナウイルス感染症は小さい子どもも感染するため、PTAからも保護者へ注意喚起していただけたらと思う。
⇒○先日その話しを伺った後、校長と副校長へ報告した。学校からも今一度注意喚起すること。

4 閉 会

後藤副会長が閉会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	役職	備考
1	地区自治会連合会	竹田 幹夫	会 長	出席
2	地区自治会連合会	横田 智治		出席
3	地区自治会連合会	金ヶ江 實		出席
4	公民館	後藤 陽子	副会長	出席
5	公民館	杉原 美智子		出席
6	地区社会福祉協議会	坂本 洋三	副会長	出席
7	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄		出席
8	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子		出席
9	地区子ども会育成連絡協議会	近藤 大助		出席
10	星が丘小学校 P T A	山本 眞太郎		出席
11	青少年指導員	高畑 由美子		出席
12	スポーツ推進委員	小川 英明		欠席
13	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦		出席
14	星が丘高齢者支援センター (地域包括支援センター)	佐藤 浩史		出席
15	地区交通安全母の会	富倉 亜紀		出席
16	消防団第4分団第4部後援会	立山 均		出席
17	交通安全協会千代田支部	鈴木 勝行		出席
18	交通安全協会星が丘支部	岩本 義昭		欠席
19	有識者	野中 保		出席
20	有識者	小林 祥子		出席
21	有識者	奥山 憲雄		出席